

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 市民協働課

施策名	過疎対策・地域振興
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	・必要なコミュニティや生活機能等が維持・確保され、住み慣れた地域で安心して生活できています。

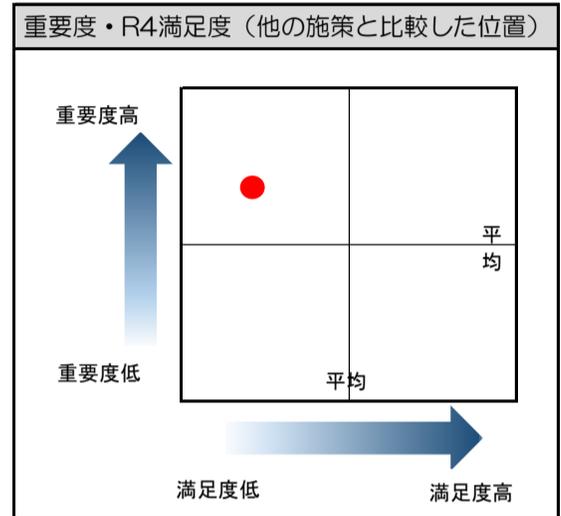
2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標		令和9年度目標
空家バンクを利用し移住した人	人	24	35		50
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	6	15	10	19	13

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度/単位 (%)
令和3年度
98.4

満足度（満足している市民の割合）/単位 (%)		
令和3年度	↓ DOWN	令和4年度
81.6		78.8



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

人口減少と過疎化・高齢化が進行する地域にとって、必要なコミュニティや生活機能等が維持・確保され、住み慣れた地域で安心して生活できるということは、とても重要な課題です。
都市部からの人材活用による地域おこし協力隊の活動は、地域に住む人たちとともに取り組みながら、地域の活性化を図っていく手段として有効であると考え、引き続き取り組んでいきます。
各地域においては交流人口を増やすため、引き続き地域資源を磨いていきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：地域おこし協力隊活用事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
25,616	協力隊活動事業	↑	↑	地域おこし協力隊の経費は、特別交付税措置により市の実質的な財政負担は少なく済むため、必要に応じて人数を増やすなどの対応を検討していきます。また、協力隊の業務や活動地域での生活をサポートするアドバイザーの設置を検討します。募集事務を強化し優秀な人材の獲得に努めていきます。	○

事務事業名②：集落支援員活用事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
1,770				単身高齢者宅の巡回や草刈りなど集落支援員の活動に対する需要は高いうえ、その経費は特別交付税措置により市の実質的な財政負担は少なく済むため、積極的な運用が望まれる一方、支援員の高齢化や適正な人材の確保が難しいことから、人材確保ができるように地域での周知を図ります。また、地域の課題や要望を把握し、ニーズに合った活動となるよう活動の見直しを検討します。	

事務事業名③地域の宝磨き上げ事業（板取地域）

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,443	板取地内あじさい園 あじさい剪定	完了	→	多くの観光客に板取地域を訪れてもらえるよう、あじさい園等の草刈り、剪定、挿植を行い、適正な維持管理を継続的に実施します。但し、この事業は地域振興一般経費への組み替えとなり、地域の宝磨き上げ事業としては4年度で終了の予定です。	
	21世紀の森公園 遊歩道柵設置工事	完了	完了		

事務事業名④：地域の宝磨き上げ事業（武芸川地域）

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
5,265				郷土の偉人展など郷土愛醸成につながる催しを実施していきます。また、来訪者の利用環境が向上するよう、老朽化した施設を整備していきます。	

事務事業名⑤：地域の宝磨き上げ事業（武儀地域）

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,705	関市原木しいたけ栽培新規後継者育成支援事業補助金	↘	↗	原木しいたけ新規後継者育成支援事業は、引き続き次世代の熱意ある後継者の発掘に努め、地域特産品ブランドの持続を図ります。 また、地域の名所の景観整備等を継続的に行い、観光資源の魅力アップに努め集客率増加を図ることにより地域全体の活性化を目指します。	
	八滝土砂浚渫 不要物撤去	完了	完了		

事務事業名⑥：地域の宝磨き上げ事業（上之保地域）

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,030				地域の観光施設や資源の景観整備等を継続的に行い、魅力アップを図ります。また、地域特産品であるゆずの持続的運営ができるようにボランティアを活用します。以上により上之保地域の来訪者の増加を進め、地域活性化に寄与できるよう実施します。	

事務事業名⑦：地域の宝磨き上げ事業（洞戸地域）

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
2,419	沿道紫陽花植栽工事	完了	完了	地域特産品であるキウイフルーツの栽培拡大を進めるためにJAやキウイ生産部会との連携をさらに深め、事業周知と生産拡大に努めます。また、高賀溪谷や星取り山遊歩道の再整備を実施し、観光客や地元住民が安心安全に利用できる環境整備を行います。	